

東宝見聞録

5月に入り、1年生も学校生活に慣れ、いろいろな学校行事が始まりました。今回は一日遠足の様子と、3年生の小論文ガイダンスの様子、そして前回に続いて、中国派遣の報告【後半】を行いたいと思います。

学習と親睦を深めた一日遠足！



4月28日(木)に、一日遠足が行われました。初めての一日遠足となった1学年は、(株)有村屋・鹿児島国際大学で進路学習をした後、平川動物公園でクラスの親睦を深めました。本校卒業

生も就職の実績がある有村屋では、日頃見る機会のない「薩摩揚げ」の製造過程を見学、そして、鹿児島国際大学では国際交流を学校の特色の一つとする我が校生徒の関心をより高めるためにレクチャーを受ける等、充実した進路学習の機会となりました。平川動物公園では、天候も回復し学年の親睦を深めることができました。この体験を今後の学校生活に活かしてくれる事を期待します。(1学年)



学生食堂の利用も体験！

進路決定に向け始動！小論文ガイダンス



5月13日(金)に、3年生対象の小論文ガイダンスが行われました。今回は、第一学習社から全国の高校等での小論文指導で経験豊富な長岡裕子氏を招き、小論文の書き方の基本や志望理由書・自己PR文の書き方等についての講話をして頂きました。これをきっかけに、これから本格化する進路決定に向けての取り組みに弾みをつけてほしいと思います。(3学年)

中国短期派遣報告

中国短期派遣 in 北京【後半】(4月22日～27日)



中国滞在三日目は、天津最後の日であった。午後から匯文(カイクン)中の先生に案内され、大都市天

津の市内観光をした。そしてその夜は匯文中の生徒・先生方が学校の食堂を利用し、送別会を開いてくれた。日・中・英語、そしてゼスチャーを交えながら、初めての北京ダックを含む中華料理を楽しんだ。



夕食の中で、片言の中国語で、匯文中の校長先生たちにお礼を言う東高校の生徒達や、逆に、片言の日本語で日本人教師にお礼の挨拶をする匯文中生徒らの姿を見るのは感動的だった。生徒達は、制服交換しての記念撮影をして天津での最後の夜を終えた。

滞4日目早朝、匯文中のバスで北京へ向かった。北京郊外の「明十三陵」と「万里の長城」が目的地である。ともに中国の皇帝の強大な権力を示す史跡である。博物館内の皇帝の衣服は豪華絢爛で、王妃の履いていた纏足(てんそく)用の靴は驚きであった。



この日のハイライトは万里の長城であった。延々と続く城壁の長大さに驚かされた。急な石造りの坂道を上りながら、当時の中国に思いをはせた。生徒は元気に先を歩き、絶景を見つけては、匯文中の先生達をつかまえて、記念写真を撮っていた。中国の先生方も、人なつっこい生徒達に嬉しそうな表情をしていた。



その日の夜は、匯文中の先生方と北京市内のレストランで最後の夕食をともにした。1週間近くともに過ごす、国籍を超えたつながりが、生徒達と中国の先生方の間にできたような気がする。次の日の朝、中国最後の日に、北京空港までわざわざ見送りに来てくれた先生方と名残惜しそうに握手をしている生徒達の姿を見ると、今回の中国派遣が大成功であったことを確信させてくれた。

